

平成27年度日本大学薬学生涯教育講座[大学院(土曜)講義受講コース]

生涯教育の一環として、土曜日に開講されている大学院講義科目を受講できる講座[大学院(土曜)講義受講コース]を実施いたします。各疾患の成因・診断・治療に関する専門知識を集中的に習得することができます。

場 所: 日本大学薬学部 8号館2階 821B講義室(4/18のみ5号館1階511 講義室)
[住所]千葉県船橋市習志野台 7-7-1
[交通]東葉高速鉄道「船橋日大前」駅西口下車 徒歩7分
※本学部への自家用車での御来校は御遠慮いただいております。構内駐車はできませんので電車等の公共交通機関を御利用ください。

受 講 資 格 : 薬剤師(出身校等一切不問)

定 員: 各科目 10 名程度
申込み受付は先着順です。各科目とも定員になり次第締め切らせていただきます。

申 込 方 法 : 受講申込書に御記入の上、FAXもしくはwebにて、申込締切日までにお申し込みください。

申 込 締 切: 疾患別薬物治療学特論Ⅳ、Ⅴ…平成 27 年 10 月 1 日(木)
疾患別薬物治療学特論Ⅵ…平成 27 年 10 月 31 日(土)

受講上の留意事項: 講義の実施日時は行事、講師の都合、その他自然災害等やむを得ない理由によって変更する場合がございます。

受 講 料: 10,000 円/1 科目(テキスト代を含む、各科目 1 回目の講義受講の際に申し受け)一旦納入された受講料は、原則として返金いたしません。ただし、本学部の都合による実施日時変更によって変更後の講義が受講できなくなった場合に限り、該当講義分の受講料を返金します。

持 参 する 物: 筆記用具

主 催: 日本大学薬学部

問い合わせ先: 日本大学薬学部薬剤師教育センター
〒274-8555 千葉県船橋市習志野台 7-7-1
TEL:047-465-3895
FAX:047-465-2384

単 位 数: 各科目 8 単位

講義内容

科目名

疾患別薬物治療学特論Ⅳ

概要

代表的な循環器疾患および腎疾患について、その病態を把握し、それらの診断のための検査についても理解し、薬物療法を含めた最新の治療法について学ぶ。特に、薬物治療に関しては、実際の臨床現場における薬物療法を想定して、主作用のみならず、有害事象(有害作用軽減のための治療を含む)および相互作用などについても理解する。

実施日時	講義内容
平成 27年 10月 10日(土)	1 限 不整脈の成因・診断(検査)・治療(薬物治療)について講義する。
	2 限 腎不全(特に慢性腎不全)の成因・診断(検査)・治療(薬物治療, 透析など)について講義する。
	3 限 高血圧症の成因・診断・治療(薬物治療)について講義する。
	4 限 循環器疾患に用いる治療薬について薬学的見地からまとめて講義する。
平成 27年 10月 17日(土)	1 限 ネフローゼ症候群の成因・診断・治療(薬物治療など)について講義する。
	2 限 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)の成因・診断・治療(薬物治療, カテーテル血栓溶解療法・ステントなど)について講義する。
	3 限 心不全の成因・診断(検査)・治療(薬物治療)について講義する。
	4 限 腎・泌尿器疾患に用いる治療薬について薬学的見地からまとめて講義する。

(1時限9時00分~10時30分, 2時限10時40分~12時10分, 3時限13時00分~14時30分, 4時限14時40分~16時10分)

科目名

疾患別薬物治療学特論Ⅴ

概要

膠原病(特にSLE)、関節リウマチ、後天性免疫不全症候群の病態を把握し、その診断のための検査について理解し、これらの疾患に対する最新の薬物治療(特に免疫抑制薬・抗アレルギー薬など)について学ぶ。実際の使用現場を想定して薬の主作用と有害作用(有害作用軽減のための治療を含む)、相互作用を理解する。また、眼科疾患(緑内障、白内障など)、耳鼻科疾患(メニエル病、アレルギー性鼻炎など)、皮膚科疾患についても、患者を中心とした薬物治療について学んでいく。

実施日時	講義内容
平成 27年 10月 24日(土)	1 限 膠原病(特にSLE)とその類縁疾患の病因・診断(検査)・治療(薬物治療)について講義を行う。
	2 限 耳疾患:メニエル病の病因・診断(検査)・治療(薬物治療), 鼻疾患アレルギー性鼻炎の病因・診断(検査)・治療(薬物治療)
	3 限 関節リウマチの病因・診断(検査)・治療(薬物治療)について講義を行う。
	4 限 後天性免疫不全症候群の病因・診断(検査)・治療(薬物治療)について講義を行う。

実施日時		講義内容
平成 27 年 11 月 14 日(土)	1 限	皮膚科疾患： アトピー性皮膚炎の病因・診断（検査）・治療（薬物治療），皮膚真菌症の病因・診断（検査）・治療（薬物治療）について講義を行う。
	2 限	眼科疾患：緑内障・白内障の病因・診断（検査）・治療（薬物治療）
平成 27 年 11 月 21 日(土)	3 限	抗アレルギー薬の服用についての注意点（有害事象を含む）について講義を行う。
	4 限	免疫抑制薬に対する薬物治療の注意点（有害事象を含む）について講義を行う。

(1 時限 9 時 00 分～10 時 30 分, 2 時限 10 時 40 分～12 時 10 分, 3 時限 13 時 00 分～14 時 30 分, 4 時限 14 時 40 分～16 時 10 分)

科目名

疾患別薬物治療学特論Ⅶ

概要

1. 代表的な内分泌・泌尿生殖器・婦人科領域の疾患についてそれぞれの成因と診断(検査), 薬物療法を含めた最新の治療法について学ぶ。特に薬物治療に関しては, 実際の臨床現場における薬物治療を想定して主作用のみならず, 有害作用(有害作用軽減のための治療を含む)および相互作用などについても理解する。
2. 移植治療について, 頻度が高い肝臓移植を例にとり術後管理並びに免疫抑制薬の使用について学ぶ。

実施日時		講義内容
平成 27 年 11 月 14 日(土)	3 限	肝臓移植, その適応・術後管理・免疫抑制薬の使用法の実際について概説する。
	4 限	内分泌疾患の概要②女性性機能の異常（不妊症, 無月経, 高プロラクチン血症), に関する診断と治療。婦人科の癌（子宮がん, 卵巣がん）に関する化学療法。
平成 27 年 11 月 21 日(土)	1 限	内分泌疾患の概要①視床下部, 下垂体疾患（汎下垂体機能低下症, 下垂体性小人症・巨人症と先端巨大症, 中枢性尿崩症), 甲状腺疾患（甲状腺機能低下症, バセドウ病, 橋本病）に関する診断と治療, その診断と薬物治療
	2 限	泌尿・生殖器疾患（前立腺肥大, 結石など）の成因・診断（検査）・治療
平成 27 年 11 月 28 日(土)	1 限	内分泌疾患の概要③副腎障害（アジソン病, クッシング病, クッシング症候群, 原発性アルドステロン症, 褐色細胞腫), その診断と薬物治療
	2 限	婦人科疾患の薬物治療に関する最近の話題
	3 限	内分泌疾患の薬物治療に関する最近の話題
	4 限	高カロリー輸液について（考え方と実際の使い方）。

(1 時限 9 時 00 分～10 時 30 分, 2 時限 10 時 40 分～12 時 10 分, 3 時限 13 時 00 分～14 時 30 分, 4 時限 14 時 40 分～16 時 10 分)